

認定NPO法人
暮らしネット・えん

No.84



通信

電話048-480-4150

2025年度 春号

みんなで楽しむ

2025年3月23日(日)

Piano Live

ピアノ
ライブ

第14回 まどかコンサート



2025年3月23日(日)、埼玉県日高市を拠点に多彩な音楽活動に取り組む齋藤ちゃくらさんをお招きし、「みんなで楽しむ Piano Live」と題して「第14回 まどかコンサート」が開催されました。天候に恵まれ、まどか利用者をはじめ、地域の方々やボランティアさんなど、総勢52名が参加。ちゃくらさんが「“ピアノ・ライブ”とタイトルにつけていただきましたが、内緒でギターも持ってきちゃいました」とギターを取り出すと、会場からあたたかな笑いが漏れるなど、春の日差しのもと、やさしさと透明感あふれるひとときとなりました。



介護保険 25 年の春に

春になるとえんの庭周辺に次々頭を出す筈、今年はほとんどお顔を見ないまま季節を終えそうです。温暖化のせいなのか、冬場の少雨が原因なのか全国的にも不作だそうです、ちょっぴりさみしいえんの春でした。

さて、この春えんでは嬉しいニュースに沸きました。えんの活動に思いを寄せてくださった方から多額の寄付をいただいたのです。「地域で共に」を掲げて営々と活動が続けてきたご褒美でしょう。おかげさまで物価高騰や介護報酬減額によるマイナスをカバーすることができました。それだけでなく、来年度に予定されている多機能ホームの建築や古くなって修理代がかさむ車両の買い替え等々、あちこちから声が上がってきます。しっかり考えて使い道を決めたいものです。そして、このお気持ちにふさわしい活動が続けなければ、と話し合っています。

この4月、介護保険制度はスタートから 25 年を迎えました。団塊の世代全員が後期高齢者に突入する超高齢社会本番が始まる年でもあります。2040 年がピーク、これから 15 年も高齢化率は上昇し続けます。

そんな中、何度もお伝えしていますが、特に在宅介護サービスは細り続けています。人材派遣会社などを頼らずに何とか乗り切ってきたえんですが、どの事業もギリギリのスタッフで動いているため一人の退職でさえシフトが組めなくなる、利用をお断りするといったことが起きます。

国会集会、要望書や声明の提出と介護保険の悪化を食い止めるために、できる限りの手段で訴え続けているにも関わらず、国からは具体的な策は示されません。それどころか、財務省所管の財政制度審議会では、制度の持続性を盾に介護報酬の増額には及び腰、厳しい経営環境にある訪問介護の事業所に対しては「まずは既存の施策を十分に活用すべき」とやる気なさ満々の説明！ 国が言う既存の施策を目いっぱい取得しているケアサポートえんでも、2024 年度の時間当たり単価は前年比△2%、こんなことで仕事続けていけるとおっしゃいますか、財務省さん!!



昨年3月、えん20周年記念に植樹した紅梅が庭の中央にかわいい花を咲かせました。

すでに来年度の介護保険法改正・報酬改定に向けて国から骨格が示されました。必死で先送りしてきた介護サービス利用料2割負担の標準化(利用料2倍に!)、ケアプラン有料化、要介護1,2までの生活援助外し等々。そしてオソロシイことに、これまで以上に気合が入っている様子です。何としても差し止めねばなりません。これでは「住み慣れた地域で暮らし続ける」ことは叶いません。力を貸してください。

代表理事 小島美里



馬場敏美

ふたりのレジェンド えんを卒業し 地域へ

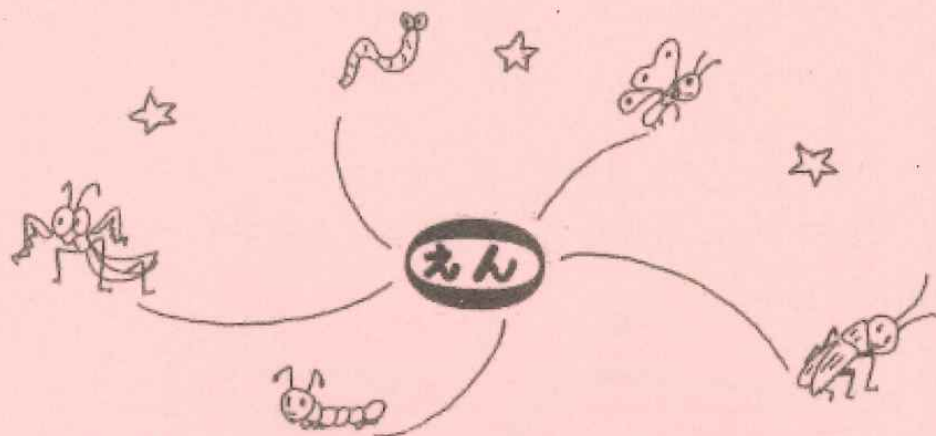


海老沢美智代

子供の時から虫が大好きな私にとって緑に囲まれた、えんの庭は特別でした。毎朝、事務所に上がる階段でも小さな生きものとの出会いがあり、ワクワクしたものでした。でも、この3月で約30年ヘルパーとして働いていたケアサポートえんを退職することになりました。

スタッフの皆さん、虫さん！竹の子さん！鳥たちも本当にありがとう。特に最初からの仲間、小島さん。加藤さん。野口さん。思い出がいっぱいでとても言葉に出来ません。ただあの頃、皆に出会えた事に感謝です。

お先に失礼と言うと怒られそうなので、とりあえずこれからも地域の仲間として
(ケアサポートえん／馬場敏美)



イラスト／馬場敏美

似顔絵／小野実穂

介護保険が始まった2000年に入職し、昨年末に退職いたしました。

当時は、訪問介護と小規模のデイホームを兼務していました。仕事に少し慣れた頃、ある高齢女性のお宅を訪問しました。扉を開けると便臭が部屋に満ち、汚れた布団にその方がくるまっていた。頭の中はまっ白、何とか終わると「ありがとね、でもあんたには荷が重いよ」と、ひとこと。私の未熟さも緊張感も全部わかって、この方は委ねて下さったのだ…その時、肩から力が抜けていくのを感じました。その感じはその後もたびたび私を包んでいます。

「重い荷」は、ボランティアさん、ご近所のおかみさん、支えて下さった先輩方、私よりずっと若い職員、そして利用者みなさん、出会ったたくさんの方々が、私の肩から降りして下さいました。

そして、みなさんからいただいた大切な思い出を両肩に載せて退職します。

ありがとうございました。

(多機能ホームまどか／海老沢美智代)



事例から学ぶ認知症ケア

2025年3月16日（日）新座市立中央公民館にて、事例検討を通じて認知症ケアを学びあう機会をもうけました。

初めての事例検討会

初めて事例検討会に出席し、事例発表させて頂きました。

この検討会では、講師から事例に対し、まずは「当事者は何に困っているか」を本人になりきって想像するという事で始まりました。本人がして欲しい事、周りがして欲しい事を分けて考える事が出来たと思います。

私が発表した事例を含め、もう1事例に「本人は困っていないのでは？周りの人間が困っているのでは？」という見解があり興味深かったです。

次に「この人に出来るサービスは何か？どんなサービスが必要なのか？」を考えたのですが、同じグループになった中にグループホーム職員・ケアマネ・地域包括支援センター職員がいた事もあり、公的サービスの手続きや訪問看護で出来る内容など、自分の日常業務とは別の話を聞くことが出来ました。

たくさんの事業所や様々な職種で、介護サービスを支えていることを実感する実り多い時間でした。

（デイホームえん／桑名円）

事例検討会に参加して

今回事例提出して思ったことは、その事業所内で無理やり答えを出す必要はないなということでした。私たちはグループホームとして一人の利用者さんについて検討内容の提起をしました。その検討内容についてグループワーク形式で話し合い、話し合った結果を発表しました。けれども当日は事業所内（グループホーム）だけでは考えなかったような意見がたくさん出ました。

今までは事業所内でミーティングという形でその方について話し合ってきました。今後は事業所外のスタッフにも相談という形で多角的な視点からの意見をもらえるように連携をとって、利用者さんにとってよりよい生活が送れるように支援していければと思います。

（グループホームえん／高岡・日浦）



第14回 まどかコンサート



コンサート後のひととき

♪参加者からの感想♪

『恋がしたい』（あってるかなあ？）の曲が良かった。自然を前に曲を作られているイメージがあった。なぜあの曲名なのか聞いてみたい気もした。

とても穏やかな気持ちになりました。ありがとうございました。

優しい音が体に心地良かったです。また次回もぜひ。

今日は楽しい時間をありがとうございました。間近でできる楽器の音は体に響きわたりました。リクエストにも気軽にこたえて下さるちゃくらさん。ありがとうございました。皆さんの歌声も春の気配と一緒にすてきでした。

いやなニュースが多くて心が痛むことが多い日々です。でも音楽は心から幸せにしてくれると実感しました。ギターの音色もステキでした。素敵な時間をありがとうございました。

母親（99歳）と共に参加しました。ギターの音色が深く潤いに満ちて、感銘を受けました。即興も素敵な展開でした。有難うございました。素晴らしかったです。

グループリビングえんの森入居者 三石^{やすこ}恵子さんに

インタビューさせていただきました！

グループリビングえんの森開設から14年、居住者の顔ぶれもすっかり入れかわり、それぞれの暮らしを楽しんでおられます。今回は昨年12月に入居された三石さんにインタビューしました。

グループリビングえんの森を選んだ理由は？

上野千鶴子さんの「おひとり様の老後」などにグループリビングのことがあり、影響されました。10年ほど前、開設もないえんの森を川口の方々と見学に伺い、いずれここに入ろうかなと思っていました。

最近は独り暮らし高齢者を狙った詐欺や強盗、怖かったです。古い木造の家は寒い。灯油ストーブで冬をしのぐのはたいへんでした。ここは床暖房がはいついて、それが決め手かな。

入居して住み心地はいかがですか？

住み始めて、想像以上に生活は個人に任されていて自由なことがわかりました。夕食以外、朝食と昼食は自分で調理するのもわたしには合っています。

新座市外から引っ越してきたので、居住者の方々にいろんなこと（買い物先や散歩道など）を教えていただき、ありがたかったです。

三石さん流にグループリビングえんの森を紹介していただけませんか。

建物の前は雑木林で朝は鳥のさえずりで目覚め、散歩コースは無数にあります。床暖房は快適です。たまに居住者の皆さんとおしゃべりを楽しむことができます。

ほかに伝えたいことをどうぞ！

都市部の川口市、蕨市しか住んだことがなかったので、きれいな川が流れて、畑があって、散歩ができ、あちこちに野菜の直売所があり、水がおいしい。新座の住民になれて嬉しく思っています。



グループリビングえんの森 夕食風景

2025年お花見弁当

外でのお花見の代わりに、今年もお花見弁当をえんの食卓に依頼し、ケアサポートえん利用者の希望される方々に3月30日(日)スタッフがお届けしました。利用者の方々よりいただいた、お花見弁当の感想を紹介します。

板津久子さん

いつものえんのお弁当とは違い、お花見弁当らしい華やかさがありました。木内さん宅にお弁当を持って行き、ふたりで会食しました。ふたりでよく行く公園の桜の話や今まで行ったお花見の思い出を話し、楽しい時間を過ごしました。実際にお花見はできなかったが、一緒に居ることで話の花はたくさん咲きました。

木内悦子さん

美味しくいただきました。ご飯の硬さもちょうど良かったです。特に西京焼きが美味しかったです。板津さんと2人で美味しい日本酒も頂きながら楽しい時間を過ごしました。年に1回だけでなく、もっとあったら嬉しいと思います。

増山伸一さん

普段のお弁当も良いが、お花見弁当はいつもより少し豪華で美味しかった。父がいた頃、えんのお花見と一緒に参加した思い出があるので、できればお花見を復活してくれると嬉しい。

SATO(利用者家族)

先日はお花見弁当ありがとうございました。きれいなカードもデザインも良かったです。手間がかかる事は良く分かります。みなさんの楽しませる事には感謝をしております。さすがです！ご苦労様です。

佐藤敦耶さん

ちらし寿司をはじめ、華やかなお花見弁当を、とても美味しくいただきました。おかずも1つ1つ手作りで、心のこもった美味しいお弁当でした。心も一気に満開になりました！ごちそうさまでした。



今年も、おしながきに桜の写真も添えたメッセージカードをスタッフが手作りました。

令和七年三月三十日
えんの食卓

おしながき
ちらし寿司
鮭の西京焼き
だし巻き卵
とりの唐揚げ
ほうれん草のわさび和え
水ようかん

● 第22回定例総会のお知らせ ●

日時:2025年6月22日(日) 場所:新座市立中央公民館体育室

13:30~15:30 定例総会 15:40~16:50 出版記念講演

— 『マンガ認知症【介護施設編】』出版記念 —

認知症がある人と家族は何に困っているか

サトー先生:佐藤真一 (大阪大学名誉教授・老年心理学)

ニコニコルソン(マンガ家・大好きな祖母の認知症状に悩んだ)

コジマさん:小島美里(暮らしネット・えん代表・認知症介護指導者)

F岡さん:(編集担当)

マンガみたいに面白い白熱トーク! ?にご期待ください。

記念講演は

どなたでも参加できます

どうぞご参加ください

参加費無料

マンガ 認知症【施設介護編】

ニコ・ニコルソン
佐藤真一 / 小島美里



職員大募集!!

離職率が低いと評判の暮らしネット・えんで一緒に働いてみませんか?

ヘルパー(訪問介護職員)・介護職員・送迎運転担当者募集しています。

資格がない方も資格取得のお手伝いをいたしますので、ご相談ください。

地域で暮らし続けていくために 2024年度新規・継続会員募集中!

正会員 : 1000 円 賛助会員 : 3000 円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。

郵便振替(00180-5-314344)



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

TEL:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール:npoenn@jcom.home.ne.jp

ホームページ:https://npoenn.com/